



いま、和賢心のとき

フォーラムたより

2026
4月号
No.67

「フォーラム創設時の願いと理念を頂き直して」

金光教首都圏フォーラム議長 鈴木一嘉

今から十五年前、在籍教会に隣接していた大きな工務店が廃業した。教会の営繕など度々お世話になり、大変懇意にさせて頂いた。廃業の挨拶に来られた専務がこう語った。「企業には『四十一年の壁』というものがある。この壁を乗り越えられる企業と越えられない企業がある。うちは乗り越えられなかった」。この言葉を時々想い出す。

「企業」と「組織」を安易に結びつけて考えるのは、浅はかかも知れない。しかし四十年位経つと当初の願いや、理念というものとは段々と薄れていくのかも知れない。「初心に帰る」とは大いなる営みである。

さて、昭和六十三年（一九八八）首都圏布教百年の節年に発足された本フォーラムは二年後に四十年を迎える。つまりフォーラム結成四十年・首都圏布教百四十年を、我々は二年後に控えている。

このことを鑑み、フォーラムの規約に収められている《首都圏布教百年の意義》の中の一節を今改めて共に頂き直し、フォーラム活動を推進してまいりたい。

「こんにちにあつて大切なことは、教祖様の布教精神が首都圏布

首都圏フォーラム新しい顔ぶれ

フォーラム会議構成員

【敬称略】

（茨城・栃木）

岡本眞美
菊池瑞昭

（群馬・埼玉）

松本光明
長谷川弘徳

（千葉県）

鈴木宏政
安西修一

（東京都）

鈴木一嘉
松本信吉

（神奈川県・山梨）

村田光治
川込光貴

【議長】

鈴木一嘉

【副議長】

岡本眞美
村田光治

【事務局員】

川越基如
福田俊介

【監事】

田中美和子、進藤寛子

【団参委員会】

委員長 鈴木一嘉

副委員長

湯川光信
田中美和子

【支援機構事務局】

局長 宮田和弘

局長

横瀬佳子

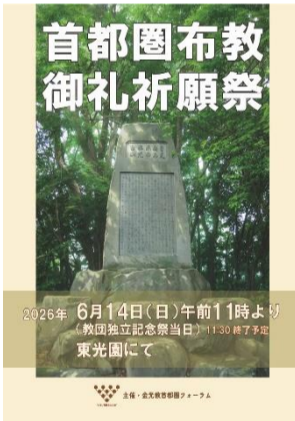
《首都圏布教百年の意義》から抜粋

教百年の営々とした営みの中に今も保持され、首都圏内の個々の教会や個々の信奉者それぞれは、来るべき二十一世紀に向けてみずからその最先端に位置しているという自覚を持つことである。すなわち教祖金光大神様無くして天地金乃神様の救済は今に無く、先覚先人の布教無くして首都圏布教のこんにちには有り得ず、また私達の信心無くしては教祖様ご出現の意義も先覚先人の布教目的も達し得ないとの自覚である。その自覚を首都圏内の全ての教会・全ての信奉者が等しく持ち合せて、これから先の世と人の救済に邁進してゆく体制を創りあげてゆくのが、首都圏布教百年の最大の意義である。そうした意義を首都圏布教百年に求めるならば、それは決して過去の布教を記念するだけのものではあつてはならず、過去の布教の業を顕彰しつつ、新たなビジョンと布教プログラムを持った出発の時とすることが大切である。

ところで百年以後の首都圏における本教の活動の課題は「布教」と「連帯」というキーワードに集約することができるだろう。」

首都圏布教御礼祈願祭の御案内

金光駅から里見川を渡って右斜め方向へ進み、更に南へ三百メートル程の所にある「東光園」は、東京布教四十年にあたる一九二八（昭和三）年、「東京布教の由来を永世に残す」との願いのもとに開かれました。首都・東京へのお道伝道・伝播の願いは、教祖直信の初代白神新一郎先生から近藤藤守先生、更に畑徳三郎先生等先覚先師へと受け継がれ実現しました。園内には「東京布教の精神」を記した碑が建てられ、その題字は可能な限り白神先生・近藤先生の遺墨を集め彫られているとのこと。その記念碑の前に、今年も「首都東京に金光大神の道を伝える」との願いを形に表わし続けられた先人の精神を胸にいただき、東光園において「首都圏布教御礼祈願祭」をお仕えいたしますので、ご案内を申し上げます。



金光駅から東光園までの経路

ここからの能登支援

能登半島地震発災から丸二年が経過し、被災家屋の多くが解体されましたが、被災者の生活再建にはまだまだ時間がかかることが予想され、今も多くの方が仮設住宅での不便な生活を余儀なくされています。一方、支援機構が富山県射水市に構えていたボランティアの拠点「こころポランティアハウス」はこの三月末で閉じました。拠点はなくなりましたが、能登での支援機構の活動は今後も続けていく予定です。被災地に対する世間の関心は時間の経過と共に薄まりつつありますが、能登の方々が一日でも早く元気を取り戻せますよう、引き続きご支援お祈り添えのほどよろしくお願いいたします。

二年後の首都圏布教百四十年にあたる令和十年六月十一、十二日。首都圏参拝団をコロナ禍以来初めて運行することが決まりました。

教祖様のご理解に「一人で持ち上がらぬ石でも、大勢で一度に力を合わせれば持ち上がる。家内中、勢を揃えた信心をせよ」とあります。団体参拝は、この持ち上がらぬ石を持ち上げることであります。

現在、本部参拝は全教的に少しずつ元に戻っている傾向ですが、首都圏のみ蚊帳の外という状態が現状です。この百四十年のお年柄をきっかけに、首都圏の本部参拝を活性化していきたいと存じます。

本部参拝を通じて少しでも多くの方が助かりの道に進まれますように願っております。是非とも、首都圏参拝団にご参加頂き、勢参拝のおかげを頂きましょう。

「首都圏布教施設整備基金」

昨年、首都圏フォーラムでは「首都圏布教施設整備基金」の口座開設をしました。御神願成就の為に、東京に金光教独自のビルを置く事は必須です。この基金は息の長いものとして、貯まった浄財をセンタービルの「保全・補修」に充てることを目的としています。皆様の御理解とご協力をお願い申し上げます。

三菱UFJ銀行 本郷支店
普通預金
口座番号 0387228「金光教首都圏フォーラム」
教会として振り込まれる場合は、「〇〇キョウカイ」と（金光教を抜いて）教会名を明示して下さい。個人の場合は、「氏名教会名」の順で記名してください。

茨城・栃木教会連合会



岡本眞美会長

連合会長三期目のお役をいただきました。最初の三年間は「新型コロナウイルス」が、次の三年間は「力による支配」が、連日のように報じられ、今も私たちの周りには、未だ終息を迎えられない沢山の難儀があるからこそ、「世界の平和と人類の助かり」の実現に向け、金光大神様の生き方に基づいた手立てを探り求めていきますよう。

連合会の活動目標として、引き続き「ひとり一人が地域・社会のお役に立つことを通じて、お道による助かりの輪を広げる」を定め、指針として「ありがとう。心を和ませる魔法のことば」を心に掲げて、お道による助かりの輪が少しでも大きくなっていくよう、銘々が稽古を重ねて参ります。また恒例となった教師・信徒合同研修（六月開催予定）では、準備会を通じ選び抜いた金光大神様の御理解を主題に据え、研鑽・共励を行なう

予定です。

群馬・埼玉教会連合会



松本光明会長

新たな執行部を迎えた当連合会では、これまでの基本方針を継承しつつ、活動方針に新しい方向性を打ち出すことにしました。

基本方針Ⅱ
「世界の平和と人類の助かりに向けて、『神人の道』を開く」活動方針Ⅱ

①教会相互の研鑽によって各教会の布教力と救済力を高める。
②教会が連帯、連携して首都圏布教を推進する。
③青少年育成に取り組む。
昨年まで三年間は「SDGs」という人類共通の課題から学ぶことを通じて、現代の難儀に取り組む私たちの心のパワーアップを目指してきましたが、今年からは、私たちの信心の稽古と活動の場である教会のあり方に焦点を当て、その布教力、救済力を高める

ために共に学び合っていきたいと思います。

メイン行事である「群埼玉のつどい」では、信心のありがたさを再確認する研修を企画中で、その他に青少年育成として「夏の学校」、教師部は茨城栃木連合会との合同研修会「地域布教の実例から学ぶ」、信徒部は「社会問題勉強会」「信心共励会」を予定しています。教会家庭婦人会／群埼玉女性フォーラムは「祈りの集い」開催と、東京センタービル改築を願っての「十円玉募金」を実施します。

千葉県教会連合会



鈴木宏政会長

千葉県連合会では、この三年間は御礼の実践として『日に日に生きるが信心なり』とサブテーマを設けて、進ませています。
高齢化社会であることは否めませんが、歳をとっても出来るのが信心です。道の御比礼を信じて道を歩ませています。

信心の継承は、どこでも問題になります。伝える側の生き方、あり方がいかに大切であるかを研修、共励会で学ばせていただきます。

毎年、青年信奉者育成祈願祭をお伝えさせていただき、今年で二十三回目を迎えていただきたいと思います。
数年前から、青少年、壮年の参加者を典樂の道にお誘いしてまいりました。運営会議の際に「とにかく動いて、進めていきましょう！」とお声掛けをさせていただき、年明けから毎月二回稽古日を設けて取り組ませていただいております。

東京都教会連合会



鈴木一嘉会長

この輪が広まり、御道開き、信心の稽古、継承に繋がるようにと願いながら、活動させていただいております。

年月を重ねる再来年には首都圏布教百四十周年を迎えます。この事を鑑み東京都教会連合会は今年度の活動方針を「首都圏布教百四十周年に向け

て、金光大神の信心を求め現し、世界の平和と人類の助かりにつなげる―布教と連帯の精神をもって、首都圏布教と社会活動を推進する―と定め、この方針に則って教師・信徒連合会活動を進めてまいります。
昨年分会を改組して新三分会制になってから、各分会活動が活性化してきました。また、今年度より新たな執行部体制が組まれました。本年も定例の分会活動と、それとは別の連合会行事の二柱を軸として、御神願成就に向けて今年が「ホップ」、来年が「ステップ」、そして再来年「ジャンプ」できるように努めてまいります。

神奈川・山梨教会連合会



村田光治会長

岡山で立教した本教が、大阪を経て箱根の山を越え、帝都東京での布教が開始されたのは明治二十一年、それから

今期は基本方針として「様々な世代や立場の交流を通して、共に助かり立ち行く道を求めよう」

また活動方針として
一、信心を高め合おう
一、次の世代につなげよう
一、信心の喜びを伝えよう
を掲げて活動を進めてまいりたいと考えております。
これまで伝統的に行われてきた世代間の交流はもちろん、それに加えて、様々な背景を抱えながら信心を進めさせて、周りの立ち行きを願い、助かりを喜び合える姿を共に求めてまいります。

主な行事として、三月にみんなの交流会、六月に女性をつどい、十月にグラウンドゴルフ、教師信徒研修会、十二月に講話と夕食の会を予定しています。



金光教首都圏フォーラム
ホームページ QR コード